

敬語	素材敬語 = 話題敬語	相互尊重	自己表現	円滑な人間関係構築	
お ご ご	になる	お読みになる。 ご心配になる。	行く	行かれる いらっしゃる	先生が東京に行かれる。 先生が東京にいらっしゃる。
	なさる	ご利用なさる。 利用なさる。		おいでになる 見える	先生が東京においでになる。 先生が東京から見える。
お ご	くださる	お教えてください。 ご指導ください。	来る	いらっしゃる お越しになる	先生が東京からいらっしゃる。 先生が東京からお越しになる。
お ご	だ	お読みだ。 ご心配だ。	いる	いらっしゃる	先生は家にいらっしゃる。
			言う	おっしゃる	先生がおっしゃる。
形容詞 名詞	いらっしゃる	上手でいらっしゃる。 努力家でいらっしゃる。	みる	ご覧になる	先生が書類をご覧になる。
			食べる	召し上がる	先生が昼食を召し上がる。
動詞ナイ形	れる	1グループ 先生が読まれる。(尊敬助動詞)	飲む	召し上がる	先生がお茶を召し上がる。お飲みになる/飲まれる
	られる	2グループ 先生が始められる。(尊敬助動詞)	する	なさる される	先生がご利用なさる。ご利用なさる。(○)ご-なさる型 先生が利用される。ご利用される。(×)ご-される 不可
お ご	形容詞	お忙しい。 ご立派な。	知っている	ご存じだ	先生は既にご存じだ。
お ご 貴	名詞	先生のお名前/先生からのお手紙 先生のご住所/先生からのご説明 貴社	これ	こちら	こちらをご覧ください。
			あげる	お与えになる くださる	先生が本を学生にお与えになった。 先生が指導してくださる。[敬語+恩恵(ありがたい)]
形容詞+ございます 「e-い」の形は無い a-い 高い たこうございます。 i-い おいしい おいしゅうございます。 u-い 軽い かるうございます。 o-い 重い おもうございます。			待遇表現 = プラス面もマイナス面も含む表現 敬意表現 尊敬語 相手を立てる プラス 謙譲語 自分がへりくだる 軽卑表現 軽卑語 こいつ、てめえ、きさま、やがる マイナス 尊大語 近う参れ		絶対敬語：韓国/ジャワ語 社長様は、今いらっしゃいません。 相対敬語：日本 社長は、今おりません。
敬語の指針：2007年 文化審議会国語分科会 上下関係：上司と部下 恩恵関係：医者と患者 親疎関係：相手が親しいか疎遠かの関係 ウチとソト：グループ的に身内と身内以外に分ける。			敬遠表現 初対面の時の疎遠な人との間に、適度な距離を置く表現 敬語仕様の場面への配慮： 目上の人への意向の確認、できるかどうかの能力、私的な領域に関しては敬語を使っても失礼 <b>敬意減の法則</b> ：佐久間鼎(コソアドの体系) 御前→おまえ 貴様→きさま 他言語に比べて <b>呼称</b> が多いため、使ううちに敬意がすり減り自分が尊大化するという法則。		

謙讓語 I		素材敬語 = 話題敬語		自分側をへりくだり<向かう先>への敬意を表す。		
お ご	する	お仕えする。	行く	伺う	御社に伺います。	<向かう先有り>
		ご案内する。		*参る	店員が 今すぐ参ります。(謙讓語 I)	<向かう先有り>
お ご	申し上げる	お仕え申し上げる。	言う	申し上げる	私の意見を申し上げます。	<向かう先有り>
		ご案内申し上げる。		見る	拝見する	お写真拝見しました。
お ご	いただく	お教えいただく。	読む	拝読する	書類を拝読しました。	<向かう先有り>
		ご配慮いただく。		知る	存じる	その件は存じています。
お ご	名詞	先生へのお手紙	会う	お目にかかる	はじめてお目にかかります。	<向かう先有り>
		先生へのご説明		いただく	先生にご指導していただく。[敬語+恩恵(ありがたい)]	

謙讓語 II		対者敬語		自分側をへりくだるが<向かう先>はなく 聞き手に対する敬意を表す			
いたす	サ変のみ	利用いたす。	行く	参る	私が 明日、海外に参ります。	<話す相手への敬意>	
愚 小 拙 弊	名詞	愚妻	御仏：みほとけ	言う	申す	佐藤と申します。	<話す相手への敬意>
		小生		いる	おる	明日は1日中、会社におります。	<話す相手への敬意>
		拙著(せつちょ)		食べる	いただく	食レポ では、いただきますよう！	<話す相手への敬意>
		弊社		飲む	いただく	お茶をいただきました。	<話す相手への敬意>
謙讓語 I と謙讓語 II の両方の性質を持つ「おーいたす」			来る	参る	お車が参りました。	<話す相手への敬意>	
先生を駅でお待ちいたします。			する	いたす	着陸いたします。	<話す相手への敬意>	
「お待ちする」「おーする」謙讓語 I = <向かう先> 先生への敬語			あげる		差し上げます。	<話す相手への敬意>	
「いたす」謙讓語 II = 聞き手への敬語			存ずる		明日の予定は存じています。	<話す相手への敬意>	
先生のところへ伺います(O)			謙讓語 II は『言い切り』形では使えなくて、丁寧語を伴う特徴がある。				
弟のところへ伺います(X)			明日、先生のところへ伺うよ！(先生以外に向けての発話)				
先生のところへ参ります(O)			明日、先生のところへ*参るよ！：不自然である。				
弟のところへ参ります(O)			明日、先生のところへ参ります。『ます形』を伴う				

<b>丁寧語</b>	<b>対者敬語 &lt;話す相手への敬意&gt;</b>		謙讓語Ⅱの方が丁寧語より改まった丁寧な表現となる 丁寧語のうち(で) ございます。は謙讓語Ⅱと同程度の表現となる。	
動詞	ます(助動詞)	読み <b>ます</b> 。食べ <b>ます</b> 。	形容詞	ございます おいしゅう <b>ございます</b> 。
形容詞	です(助動詞)	高い <b>です</b> 。静か <b>です</b>	動詞	ございます。 本が <b>ございます</b> 。(本があります)
名詞	です(助動詞)	学生 <b>です</b> 。	名詞	<b>で</b> ございます。 本 <b>で</b> ございます。(本です) : 「です」を丁寧にする。

<b>美化語</b>	<b>敬語に準じる 敬意の相手が無い</b>	<b>丁寧体 ですます体 普通体 だである体</b>
お茶 お酒 お料理 お箸	お弁当 お箸 ご馳走 ご祝儀	お=基本和語につける。例外 ごゆっくり(ご+和語) ご=基本漢語につける。// おビール(お+外来語) 例外 お時間 お元気 お電話 お食事 お留守 お肉(お+漢語) (X)お机は濫用 /(X)ご令息 敬意の含む単語には不要
		です体: 山田美妙 「山田です。」 言文一致 ます体: 「晴れています。」 運動 だ体: 二葉亭四迷 「今が幸せだ」 である体: 尾崎紅葉 「吾輩が猫である」
		スピーチレベル=丁寧さの程度 レジスター[個人の言語使用域] 「お宅はどちらですか?」 「うち、どこ?」

<b>マニュアル敬語</b>	敬語の使い方にまだ習熟していない人のために、場面に即した敬語の使用例を具体的に示すマニュアル。	
X こちらにお名前の <b>ほう</b> をご記入ください。	「ほう」はぼかし表現: 体の方は大丈夫ですか	
O こちらにお名前をご記入ください。	「ほう」は比較の表現。(住所ではなく) 名前のほうをご記入ください。(O)	
X こちら <b>コーヒーになります</b> 。	「になる」は何かを紹介したり説明する時に使う。「このコートは1万円になります」「新商品になります」	
O コーヒーで <b>ございます</b> 。	「になる」は変化表現。「オタマジャクシはかえるになります」	
X ご注文の品は <b>お揃いになりましたか?</b>	「お揃いになる」は尊敬語。ご注文の品は尊敬の対象にならないので、誤用となる。	
O ご注文の品は揃いましたでしょうか。		

<b>れる/られる</b>	<b>受身 尊敬 自発 可能</b>		<b>ら抜き言葉 さ入れ言葉 れ不足言葉</b>
持たれる 勉強される 尊敬 教えられる 買われる 聞かれる	書かれる 話される 受身 見られる 食べられる 壊される	自発 悔やまれる 思われる 想像される 可能 見られる 食べられる	ら抜き言葉: 2グループ可能形 見られる→見(ら)れる 食べられる→食べれる さ入れ言葉: 1グループ使役形 書かせる→書か(さ)せる ※話す-話させる: さ入れ言葉でなくサ行五段活用 通常の活用である。 れ不足言葉: 1グループ可能形 書ける→書け(れ)る 話す-話せ(れ)る 行ける-行け(れ)る 辞書形で受身でない: 紛れる/懂れる/呆れる/待ち焦がれる/売れる/疲れる/取れる/外れる



ポライトネス理論	ブラウン&レビンソン	人間関係を円滑にするための言語行動
<b>フェイス：ゴフマンの面子の概念</b> 人との関わり合いに関する基本的な欲求	<b>ネガティブポライトネス 敬避的配慮 遠隔化</b> 間接的表現 フォーマル	<b>ポライトネス規則：レイコフ</b> 最初にポライトネスについて考えたのはレイコフである。
<b>ポジティブフェイス</b> 他者との関わりを望む欲求。 好かれない/褒められない/認められない	前置きを持ちいる。 「お忙しいところ悪いけど」「ごめん、醤油とって」 相手を非難するときに「私が悪いのかな？」と聞く。	①押し付けない(距離:Distance) ②選択肢を与える(敬意:Deference) ③聞き手の気分を良くする(連帯:Comaraderie)
<b>ネガティブフェイス</b> 他者から距離を置くことを望む欲求 邪魔されたくない/立ち入られたくない	相手の壊したものを「壊れちゃったかも」と言う。 <b>ヘッジ</b> (垣根表現) 控えめに表現する 「ラーメンとかどう」「すいません、ちょっとできません」 垣根表現/前置き/ことわり/メタ言語行動表現(杉戸清樹)	ヨーロッパ圏では①が、東洋では②が、アメリカでは③が 単なる情報伝達よりも優先される傾向にある。
<b>フェイス侵害行為：FTA</b> ポジティブフェイスが強い相手に冷たく接する ネガティブフェイスが強い相手に親しく接する フェイスの侵害度の度合い $W=D+P+R$	<b>敬語や丁寧体もネガティブフェイスへの配慮</b> 相手との距離を一定に保ちたいという願望	<b>ポライトネスストラテジーを使わない例</b> 部屋を散らかしっぱなしにしている子に対して、母親が 「お客さんが来るまでに、部屋を片付けなさい」と発話する
①話し手と聞き手との力関係(D) ②話し手と聞き手の社会的距離(P) ③特定文化における行為の負担度(R) FTA 無標ポライトネス/有標ポライトネス	<b>リーチ：ポライトネス理論</b> 丁寧さの原理：関係を円滑にするための配慮に関する原理。 ブラウン&レビンソンのポライトネス理論とは全く別物。 <b>気配りの公理</b> ：相手の負担は最小限に、相手の利益を最大限にせよ 「何冊でも必要なだけ持って行ってください」	<b>ボールド・オン・レコード・ストラテジー (直言)</b> 「火事だ！ 逃げろ！」 「危ない！」
<b>ポライトネスストラテジー</b> フェイスを侵害しない様な言語行動を心掛ける	<b>寛大性の公理</b> ：自分の利益を最小限に、自分の負担を最大限にせよ 「この2冊だけお借ります」	<b>ポライトネスストラテジーの積極度</b>
<b>ポジティブポライトネス 共感的配慮 近接化</b> 直接的表現 カジュアル 挨拶する/仲間言葉を使う/ため口/方言/ 場を和ます冗談/ダジャレも含む 仲間内の言葉である「 <b>キャンパス言葉</b> 」 相手の髪型の変化について話題にする 「そのバッグいいね！」「それ、分かる」 「あれ、髪切った」「こんにちは」「さすが！」	<b>是認の公理</b> ：相手への非難を最小限に、相手への称賛を最大限にせよ ずいぶんよく書けていますねえ <b>謙遜の公理</b> ：自分の称賛を最小限に、自分への非難を最大限にせよ 「まだまだです」「手遊びで焼いたクッキーで恥ずかしいですがよろしければどうぞ。」 <b>合意の公理</b> ：相手との意見の相違を最小限に、相手との意見を最大限にせよ 「そうですねえ」「ご意見はご意見として拝聴して、次の議題に参りたいと思います。」 <b>共感の公理</b> ：相手への反感を最小限に、相手との共感を最大限にせよ 「おめでとう」「僕は落ちちゃったけど、いい薬になったよ。とにかくお祝いしなくちゃね」	1 「さっさと勉強しなさい」 配慮不要と判断 *言っても相手のフェイスを傷つけない。 2 「一緒に勉強しよう」 積極的ポライトネス 3 「勉強した方がいいよ」 消極的ポライトネス 4 「試験前に余裕だね」 言外にほのめかす 5 「何も言わない」 相手のフェイスに配慮 *少しでも言えばフェイスを侵害してしまう